

令和4年度 指定管理業務 実績評価シート

作成年月日 令和5年6月30日

部課名 健康こども部スポーツ振興課

施設名	弘前市運動公園(G20)
施設の設置目的	市民一人一人の健康増進と体力づくりのため、児童・生徒から高齢者まで各世代にあった各種競技スポーツ及び生涯スポーツとして軽スポーツ・レクリエーションスポーツの普及・推進を図るため設置したものである。
所在地	弘前市大字豊田二丁目3番地
指定管理者名	公益財団法人弘前市スポーツ協会
指定期間	平成26年4月1日から令和6年3月31日
1 事業計画の実施状況 施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね計画通りに実施されている。施設の維持管理については、職員間の情報共有や他指定管理施設との連携により適正な管理運営を実施している。	
2 自主事業の実施状況 弘前市の防災拠点としての役割を周知するための「はるか夢防災フェスタ」を「バッティングセンター」とともに開催、防災月間(9月)に合わせ、展示コーナーも設置されていた。その他、野球場人工芝を体験しながらの「フィールドナイトヨガ」、降雪期の利活用や冬場の運動不足解消を目的に諸室を利用した「フィットネス教室」、「冬の球場アート」ではキッチンカー・クラフト等の出店やイルミネーションなどを新たに取り入れたほか、陸上競技場室内走路の無料開放を実施するとともに、テニス用品・スポーツドリンク・氷・カイロ等の販売、利用者ニーズに合った自動販売機の設置を検討し、利便性の向上を図っていた。	
3 市民サービス向上のための取組状況 ウルトラマラソンや女子ラグビーなど多様化する利用に合わせ、施設のメンテナンスを実施し、衛生管理にも努めていた。パンフレット、月間予定表、ホームページ、SNS(Facebook)、館内掲示物を随時更新し、情報提供に努めていた。また、自主事業として、テニス用品・スポーツドリンク・氷・カイロ等の販売、利用者ニーズに合った自動販売機の設置し、利便性の向上を図っていた。その他、施設の特徴に合わせた講習会に積極的にスタッフを派遣し、オンライン化に乗り、通常では予算的に1名程度しか受講できない講習に、協会全体で数名のスタッフを参加させ、資格を取得させていた。	
4 市民ニーズの把握の実施状況 アンケート実施のほか、施設に設置した意見箱、ホームページ、SNS(Facebook)での問い合わせなどを行い、様々な媒体から利用者ニーズを把握することに努めていた。	

5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）

利用団体数8,171件（前年度7,011件、前年比116.5%）、利用人数214,085件（前年度153,131件、前年比139.8%）、使用料18,725,596円（前年度13,786,755円、前年比135.8%）。克雪トレーニングセンターは施設の特性から、より多くの利用が見込まれる降雪期においてR3年度は利用休止措置と重なったため、利用人数が197%増となるなど、他2項目も4割以上の増となった。運動公園は克雪トレーニングセンターほどの増加はないが人数、使用料については約3割増しとなった。R3年度は施設休止期間があり、新型コロナウイルス感染拡大前であるH31年度と比べると、グループ全体での利用団体数・使用料はともに95%以上と、コロナ以前に戻りつつあるが、特に運動公園において、入場制限を施した大会が多かったため、利用人数はコロナ以前まで戻ってはいない状態である。

6 指定管理業務の収支状況

再委託業務仕様内容の変更（必要度の査定及び近似業務の統一化）、計画的な修繕実施計画、計画的な経費執行等により、施設の管理に支障が無いように、計画的な予算執行に努めていた。

7 実地調査の結果

施設の維持管理・運営は概ね適正に実施されている。

8 成果指標の達成度

<弘前市運動公園野球場>

利用件数:目標	154件	実績	1,404件	達成率	912%
利用人数:目標	39,549人	実績	54,257人	達成率	137%

<弘前市運動公園庭球場>

利用件数:目標	7,016件	実績	4,760件	達成率	68%
利用人数:目標	47,365人	実績	47,984人	達成率	101%

<弘前市運動公園球技場>

利用件数:目標	90件	実績	608件	達成率	676%
利用人数:目標	11,284人	実績	28,624人	達成率	254%

<弘前市運動公園陸上競技場>

利用件数:目標	68件	実績	71件	達成率	104%
利用人数:目標	47,285人	実績	38,615人	達成率	82%

<弘前市運動公園運動広場>

利用件数:目標	287件	実績	157件	達成率	55%
利用人数:目標	27,654人	実績	5,974人	達成率	22%

<弘前克雪トレーニングセンター>

利用件数:目標	1,323件	実績	1,152件	達成率	87%
利用人数:目標	100,448人	実績	33,705人	達成率	34%

<弘前市運動公園全施設>

利用件数:目標	7,615件	実績	7,000件	達成率	92%
利用人数:目標	173,137人	実績	175,454人	達成率	101%

<弘前市運動公園グループ全体(運動公園全施設+克雪トレーニングセンター)>

利用件数:目標	8,938件	実績	8,152件	達成率	91%
利用人数:目標	273,585人	実績	209,159人	達成率	76%

新型コロナウイルス感染拡大による施設休止や利用者の活動自粛により、全体的に目標未達成となっている。

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	業務日誌等、毎日の基本業務を適切に実施し、さらにコロナ感染症防止対策に対応した。可能な範囲で自主事業を実施し、アンケート調査から利用者のニーズ把握に努めました。必要な業務報告は遅滞なく報告いたしました。	使用料の取り扱い等について、コンプライアンスを徹底させるための定期的な内部監査や職員指導の継続。 コロナ緩和による新たな生活(運動)習慣や利用者が求める多様な管理運営方法に柔軟に対応できるような知識(人)と財務の確保。
施設の管理	B	従来維持管理の水準を維持した上で、利用者の安全を第一に緊急時(災害)対策に努めるとともに、個人情報・文書・備品等の管理を実施いたしました。	
経理の状況	C	指定管理料の長期的な執行計画を基に適正に執行に努めたが、最低賃金改定等による人件費のベースアップに対応できておりません。	人件費に加え、施設の老朽化に伴い、指定管理料の範囲内での修繕執行計画が必要。
団体の財務状況	B	指定管理料及び収益事業を適正に管理し予算範囲内で財務状況を維持しました。	組織全体のより具体的な長期的財務執行計画の構築が必要。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	利用者数は減少しているが、新型コロナウイルス感染症などの情勢に対応しつつ、適正な施設運営を行っている。	職員の資質向上と利用者ニーズの把握を図り、適正な施設運営と地域に密着した自主事業の展開などに期待する。
施設の管理	A	適性な施設管理に加え、通常、専門の業者に委託しなければ対応できない業務を職員自ら資格を取得し対応するなど、快適な施設環境作りと安全対策や緊急時対策を図っている。また個人情報や文書等の管理も適切に管理している。	長期的な視点での施設備品類の老朽化に伴う安全管理を進めていただく。
経理の状況	B	収支状況、経費の削減、帳簿等の整備・保管について、概ね適正に実施している。	最低賃金改定による人件費見直し及び自主事業等による収入増の工夫が必要である。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する